

秋 田 市

『都市計画』および『バリアフリー』に関するアンケート調査

調 査 結 果 報 告 書

(抜 粋)

平成28年11月



目 次

第1章 アンケート調査の概要等

1 調査の目的	3
2 調査項目	3
3 調査対象等	3
4 調査期間	4
5 調査方法	4
6 有効回答者数	4
7 集計等	4

第2章 調査結果の総括

第1節 都市計画について

1 居住地域の満足度等について	9
2 徒歩や自転車、自動車の交通環境	9
3 まちづくりの方針や土地利用の理解度	10
4 まちづくりへの住民参加	10
5 自由意見	10

第2節 バリアフリーについて

1 バリアフリー等の理解度	10
2 心のバリアフリーへの対応	11
3 車いす駐車スペース、多目的トイレの利用実態	11
4 自由意見	11

第3節 都市計画に関する過年度調査との比較

1 居住地域の満足度等について	11
2 徒歩や自転車、自動車の交通環境	12
3 まちづくりへの住民参加	12

目 次

第3章 調査結果	
第1節 調査対象者の基本的属性について	
1 基本的属性	15
2 交通手段	20
第2節 都市計画について	
1 居住地域の満足度等について	24
2 徒歩や自転車、自動車の交通環境	56
3 まちづくりの方針や土地利用のルールを理解度	60
4 まちづくりへの住民参加	64
5 自由意見（都市計画の取組について）	70
第3節 バリアフリーについて	
1 バリアフリー等の内容の理解度	86
2 心のバリアフリーへの対応	88
3 車いす駐車スペース、多目的トイレの利用実態	92
4 自由意見（バリアフリーの取組について）	94
第4章 都市計画に関する過年度調査との比較	
1 基本的属性	111
2 交通手段	114
3 居住地域の満足度等について	115
4 徒歩や自転車、自動車の交通環境	127
5 まちづくりへの住民参加	129
第5章 調査結果集計表	131
第6章 関係資料	143

第 1 章

アンケート調査の概要等

1 調査の目的

(1) 都市計画

第6次秋田市総合都市計画（平成23年3月策定）の中間評価とともに今後の施策の参考とするため、市民のまちづくりに対する満足度や意識等を把握する。

(2) バリアフリー

秋田市バリアフリー基本構想（平成23年6月策定）の中間評価とともに今後の施策の参考とするため、市民の心のバリアフリーに対する意識等を把握する。

2 調査項目

(1) 共通事項

調査対象者の基本的属性

(2) 都市計画

- ア 居住地域の満足度等について
- イ 徒歩や自転車、自動車の交通環境
- ウ まちづくりの方針や土地利用のルールを理解度
- エ まちづくりへの住民参加
- オ 自由意見（都市計画の取組について）

(3) バリアフリー

- ア バリアフリー等の内容の理解度
- イ 心のバリアフリーへの対応
- ウ 車いす駐車スペース、多目的トイレの利用実態
- エ 自由意見（バリアフリーの取組について）

3 調査対象等

(1) 調査対象

秋田市内に居住する20歳以上の市民

(2) 標本の大きさ

項目	設計値	調査結果
母集団の大きさ N	267,952	267,952
要求精度 e	0.05	0.0463
信頼率 a	0.95	0.95
母比率 P	0.50	0.50
係数 k	1.96	1.96
標本の大きさ n	384	448

$$n \geq \frac{N}{\left(\frac{e}{k}\right)^2 \frac{N-1}{P(1-P)} + 1}$$

$$n \geq \frac{267,952}{\left(\frac{0.05}{1.96}\right)^2 \frac{267,952-1}{0.5(1-0.5)} + 1}$$

(3) 調査人数

1,000人

標本の大きさ($n = 384$)と、過去の類似調査の回収率(40%程度)を踏まえ、 $384 \div 0.4 = 960$ 1,000とした。

(4) 抽出方法

無作為抽出(男女・地域・10歳階級別の人口比による抽出)

区分	男							女							総数
	中央	東部	西部	南部	北部	河辺	雄和	中央	東部	西部	南部	北部	河辺	雄和	
20~29歳	12	16	5	8	14	1	2	13	15	7	9	14	1	2	119
30~39歳	20	16	9	13	20	2	1	20	16	9	13	19	2	1	161
40~49歳	20	13	8	12	18	2	1	20	14	9	14	19	2	1	153
50~59歳	19	16	9	13	22	3	2	20	18	10	14	24	3	2	175
60~69歳	17	16	10	12	22	3	2	20	18	11	14	25	3	2	175
70歳以上	18	16	10	11	22	4	3	29	26	15	17	36	6	4	217
計	106	93	51	69	118	15	11	122	107	61	81	137	17	12	1,000

4 調査期間

平成28年6月17日(金)から同年7月1日(金)まで

5 調査方法

郵送調査法による無記名アンケート

6 有効回答者数

448人(回収率44.8%)

7 集計等

(1) 集計

- ・都市計画に関する集計は、単純集計(以下「全体集計」という。)のほか、年代別、地域別のクロス集計を基本に行う。
- ・問9の「地域の生活環境の満足度」については、満足度グラフ(重要度×満足度)を作成する。
- ・バリアフリーに関する集計は、市内全域を対象にした設問のため、全体集計を基本とし、問20の「バリアフリー等の言葉の意味」の質問のみ、年代別のクロス集計を行う。
- ・「第4章 都市計画に関する過年度調査との比較」については、無回答を除いた集計を行う。

(2) レポート

- ・レポートは設問ごとに作成することとし、掲載のグラフとともに、傾向分析の結果を記載する。
- ・問9の「地域の生活環境の満足度」の各項目の記述については、「満足」「やや満足」を“満足”、「不満」「やや不満」を“不満”と定義し、それぞれの合計値によって整理する。
- ・傾向分析の記述については、紙面の構成上、制約があるため、語句を簡略化又は省略化して記載する場合がある。

(3) その他

- ・集計結果のパーセント値は、すべて小数第2位以下を四捨五入しているため、択一回答の構成比の合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答による設問の全体集計については、選択肢の回答数と回答者数の比率でグラフを作成する。クロス集計については、選択肢の回答数と回答総数の比でグラフを作成する。
- ・雄和地域は、回収数が少なく、回収率も他の地域と比較して低いことから、レポートにおける地域別のクロス集計に関する記述は行わない。

第 2 章
調 査 結 果 の 総 括

第2節 バリアフリーについて

1 バリアフリー等の理解度

- ・ “バリアフリー” を「知っており、大体説明できる」とする人は7割を超えている。
- ・ “ユニバーサルデザイン” は、言葉だけの認知度は半数を超えているものの、内容の認知度は約2割となっている。
- ・ “ノーマライゼーション” は、「知らない」とする人が6割を超え、内容の認知度は1割代半ばとなっている。

2 心のバリアフリーへの対応

- ・ 困っている人を見かけ、「手助けした」とする人の割合は7割を超えている。
- ・ 手助けの内容で多かったのは、「扉を開けたり閉めたりした」「道や場所を教えた」「乗り物で席を譲った」となっている。
- ・ 手助けしない理由で多かったのは、「手助けしていいものなのか分からなかった」「自分自身も困っていて、手助けをできる状態ではなかった」「急いでいた」となっている。
- ・ 手助けする行動を促進させる取組で多かったのは、「学校教育での指導」「児童生徒と高齢者や障がい者との交流」「ボランティアの育成」「広報やポスターなどによる啓発活動」となっている。

3 車いす駐車スペース、多目的トイレの利用実態

- ・ 車いす駐車スペースの利用状況について、約6割の人が、一般車の利用が見受けられると回答している。
- ・ 多目的トイレの利用状況については、約6割の人が、歩行困難な人の利用の妨げにはなっていないと回答している。

4 自由意見

- ・ バリアフリーに関する自由意見で多かったのは、「心のバリアフリーに関すること」「道路整備に関すること」となっている。

第 3 章
調 査 結 果

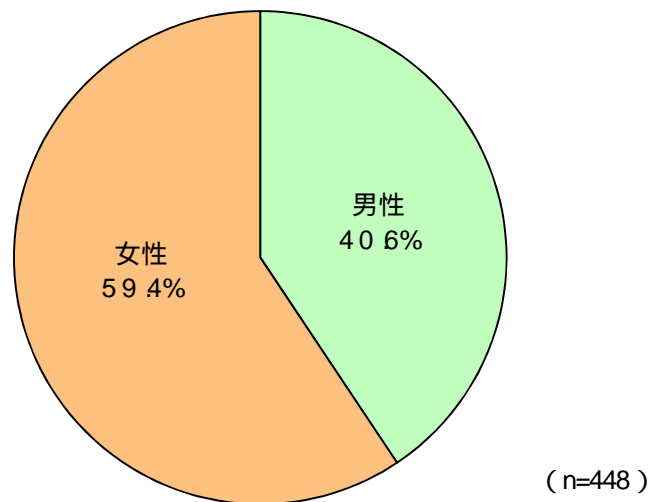
第1節 調査対象者の基本的属性について

1 基本的属性

(1) 性別

- 性別ごとの回答者の割合は、「男性」が40.6%、「女性」が59.4%であった。
- 配布数の割合と比較すると、「女性」からの回答が多く得られたという結果になった。

問1 あなたの「性別」をお答えください。(1つだけ選択)

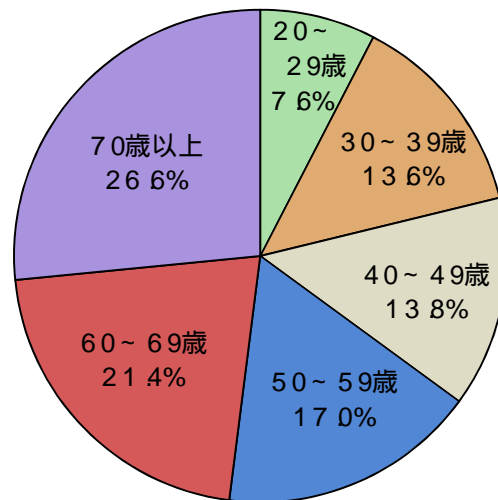


	配布数		回収数		回収率 (B/A)
	実数(A)	割合	実数(B)	割合	
男性	463	46.3%	182	40.6%	39.3%
女性	537	53.7%	266	59.4%	49.5%
計	1,000	100.0%	448	100.0%	44.8%

(2) 年齢

- 年齢別の回答者の割合は、「70歳以上」が26.6%と最も高く、次いで「60～69歳（21.4%）」、「50～59歳（17.0%）」の順になっている。
- 配布数の割合と比較すると、年代が上がるにつれて回収率が高くなっている。

問2 あなたの「年齢区分」をお答えください。（1つだけ選択）



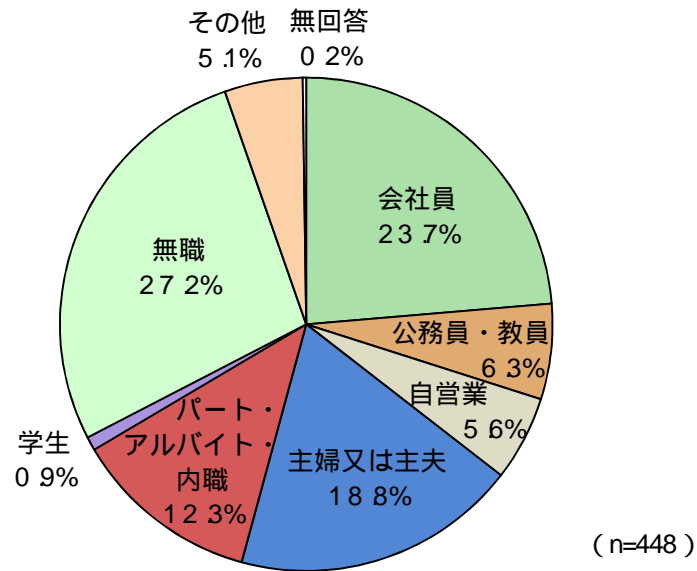
(n=448)

	配布数		回収数		回収率 (B/A)
	実数(A)	割合	実数(B)	割合	
20～29歳	119	11.9%	34	7.6%	28.6%
30～39歳	161	16.1%	61	13.6%	37.9%
40～49歳	153	15.3%	62	13.8%	40.5%
50～59歳	175	17.5%	76	17.0%	43.4%
60～69歳	175	17.5%	96	21.4%	54.9%
70歳以上	217	21.7%	119	26.6%	54.8%
計	1,000	100.0%	448	100.0%	44.8%

(3) 職業

• 職業別の回答者の割合は、「無職」が27.2%と最も高く、次いで「会社員（23.7%）」「主婦又は主夫（18.8%）」の順になっている。

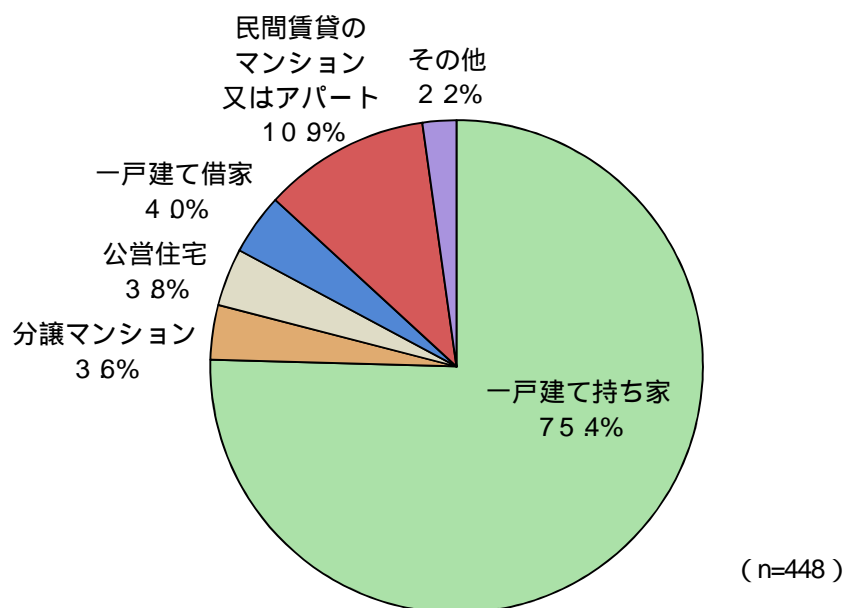
問3 あなたの「職業（主なもの）」をお答えください。（1つだけ選択）



(4) 居住形態

• 居住形態別の回答者の割合は、「一戸建て持ち家」が75.4%と最も高く、次いで「民間賃貸のマンション又はアパート（10.9%）」となっている。

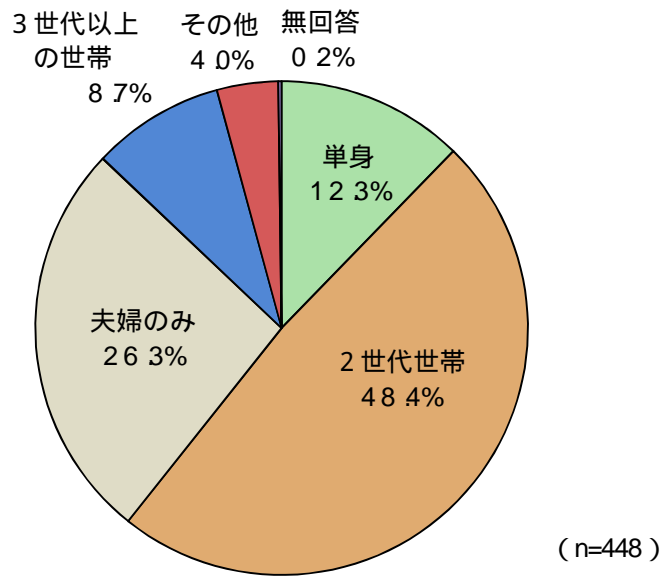
問4 あなたの「お住まい」の形態をお答えください。（1つだけ選択）



(5) 家族構成

- 家族構成別の回答者の割合は、「2世代世帯」が48.4%と最も高く、次いで「夫婦のみ(26.3%)」「単身(12.3%)」の順となっている。

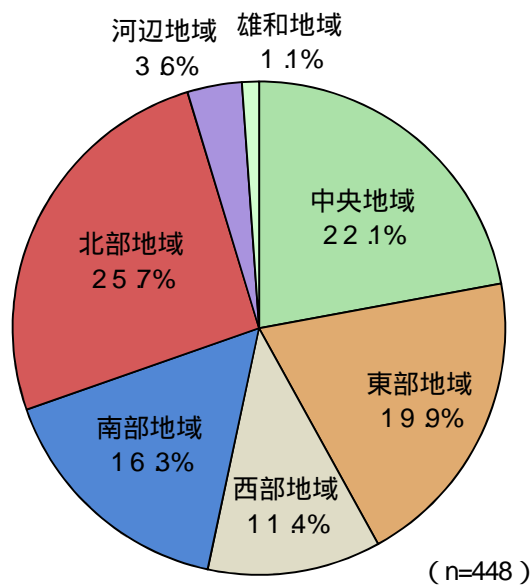
問5 あなたの「家族構成」をお答えください。(1つだけ選択)



(6) 居住地域

- 居住地域別の回答者の割合は、雄和地域を除き、各地域の配布枚数の割合とほぼ同じになっている。

問6 あなたの「お住まいの地域」をお答えください。(1つだけ選択)



中央地域	大町、旭北、旭南、川元、川尻、山王、高陽、保戸野、泉(JR線西側)、千秋、中通、南通、榎山、茨島、八橋
東部地域	東通、手形、手形(字)、手形山、泉(JR線東側)、旭川、新藤田、濁川、添川、山内、仁別、広面、柳田、横森、桜、桜ガ丘、桜台、大平台、下北手、太平
西部地域	新屋、勝平、浜田、豊岩、下浜、向浜
南部地域	牛島東、牛島西、牛島南、卸町、大住、仁井田、御野場、御所野、四ツ小屋、上北手、山手台
北部地域	寺内、外旭川、土崎港中央、土崎港東、土崎港西、土崎港南、土崎港北、左記以外の土崎港、将軍野東、将軍野南、左記以外の将軍野、港北、飯島、金足、下新城、上新城
河辺地域	河辺
雄和地域	雄和

	配布数		回収数		回収率 (B/A)
	実数(A)	割合	実数(B)	割合	
中央地域	228	22.8%	99	22.1%	43.4%
東部地域	200	20.0%	89	19.9%	44.5%
西部地域	112	11.2%	51	11.4%	45.5%
南部地域	150	15.0%	73	16.3%	48.7%
北部地域	255	25.5%	115	25.7%	45.1%
河辺地域	32	3.2%	16	3.6%	50.0%
雄和地域	23	2.3%	5	1.1%	21.7%
計	1,000	100.0%	448	100.0%	44.8%

第3節 バリアフリーについて

1 バリアフリー等の内容の理解度

(1) バリアフリーの理解度

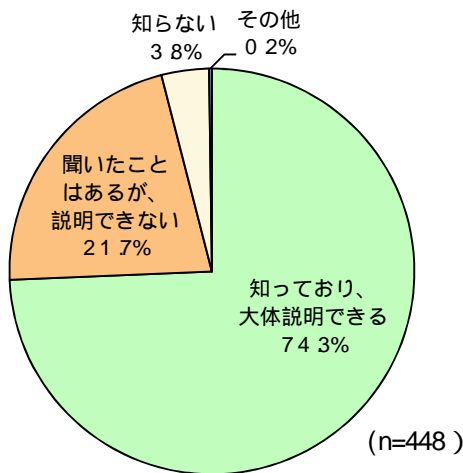
問 20 次の「言葉の意味」を知っているかどうかお聞きします。(項目ごとに1つだけ選択)

- 1 バリアフリー
- 2 ユニバーサルデザイン
- 3 ノーマライゼーション

ア バリアフリー

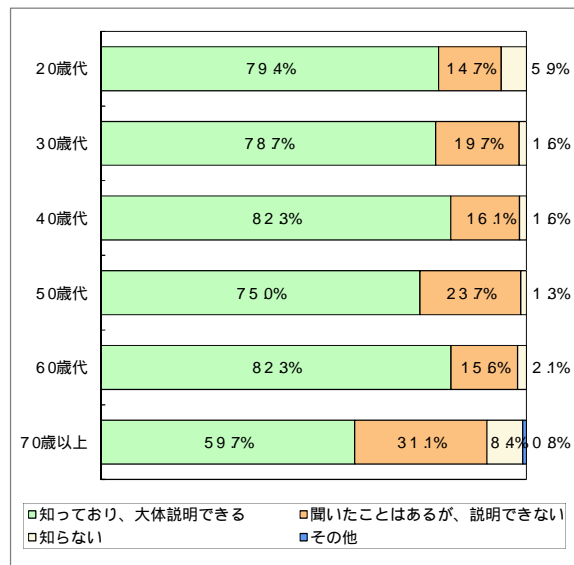
- 全体では、「バリアフリー」を「知っており、大体説明できる」とする人が7割を超えている。
- 年代別では、全世代で「知っており、大体説明できる」の割合が高くなっているが、「70歳以上(59.7%)」は、他の年代と比べてその割合が低くなっている。

【全体集計】



【年代別集計】

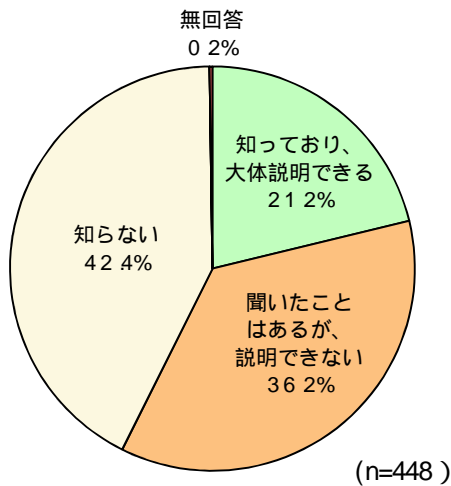
(n=448)



イ ユニバーサルデザイン

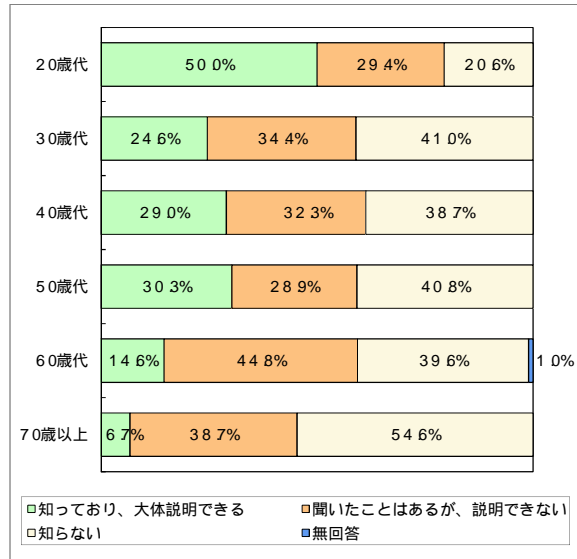
- 「ユニバーサルデザイン」は、言葉だけの認知度は半数を超えているものの、内容の認知度については約2割となっている。
- 年代別では、30歳代以降の世代で「知らない」の割合が高く、年代が上がるにつれて、その割合が高くなっている。「20歳代」については「知っており、大体説明できる」の割合が5割を占めている。

【全体集計】



【年代別集計】

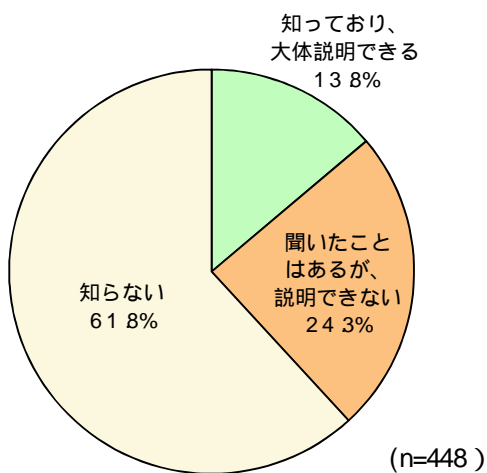
(n=448)



ウ ノーマライゼーション

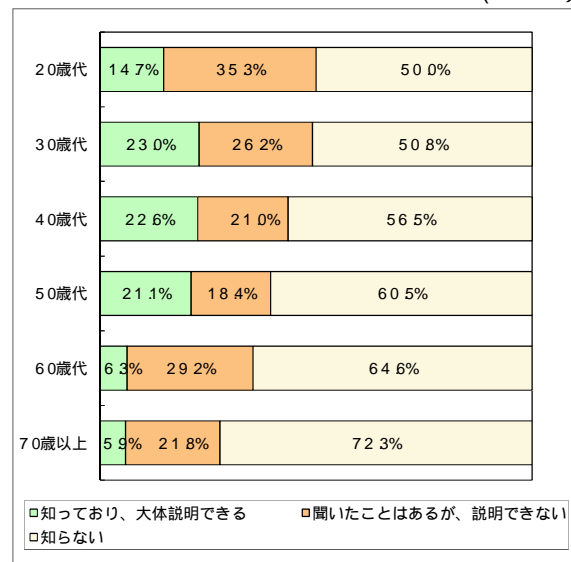
- 「ノーマライゼーション」は、「知らない」の割合が6割を超え、内容の認知度は1割代半ばとなっている。
- 年代別では、全世代とも「知らない」の割合が半数以上を占めており、年代が上がるにつれて、その割合が高くなっている。

【全体集計】



【年代別集計】

(n=448)

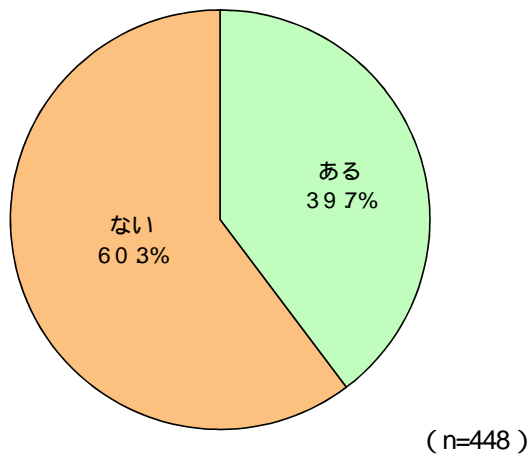


2 心のバリアフリーへの対応

(1) 障がい者や高齢者が困っている場面

• 障がい者や高齢者が困っている場面の遭遇については、「ある」が39.7%、「ない」が60.3%となっている。

問21 あなたが「ここ1～2年の間に、外出先で、障がい者や高齢者が困っている場面を見かけたことがあるか」お聞きします。(1つだけ選択)

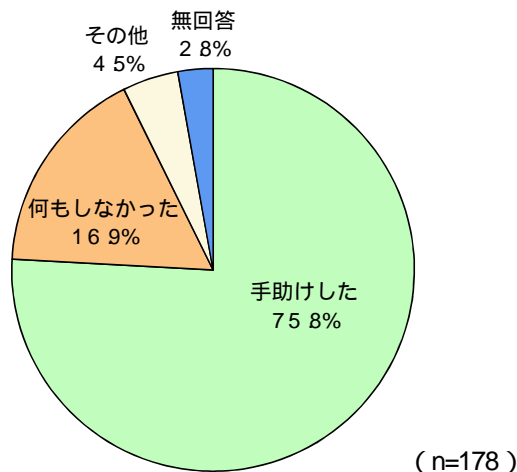


(2) 障がい者や高齢者が困っている際の行動

(問21で「ある」を選択した人を対象)

• 困っている人を見かけ、「手助けした」とする割合は75.8%となっている。

問22 前の問21で「ある」を選んだ方にお聞きします。その時にあなたはどのようにしましたか。(1つだけ選択)



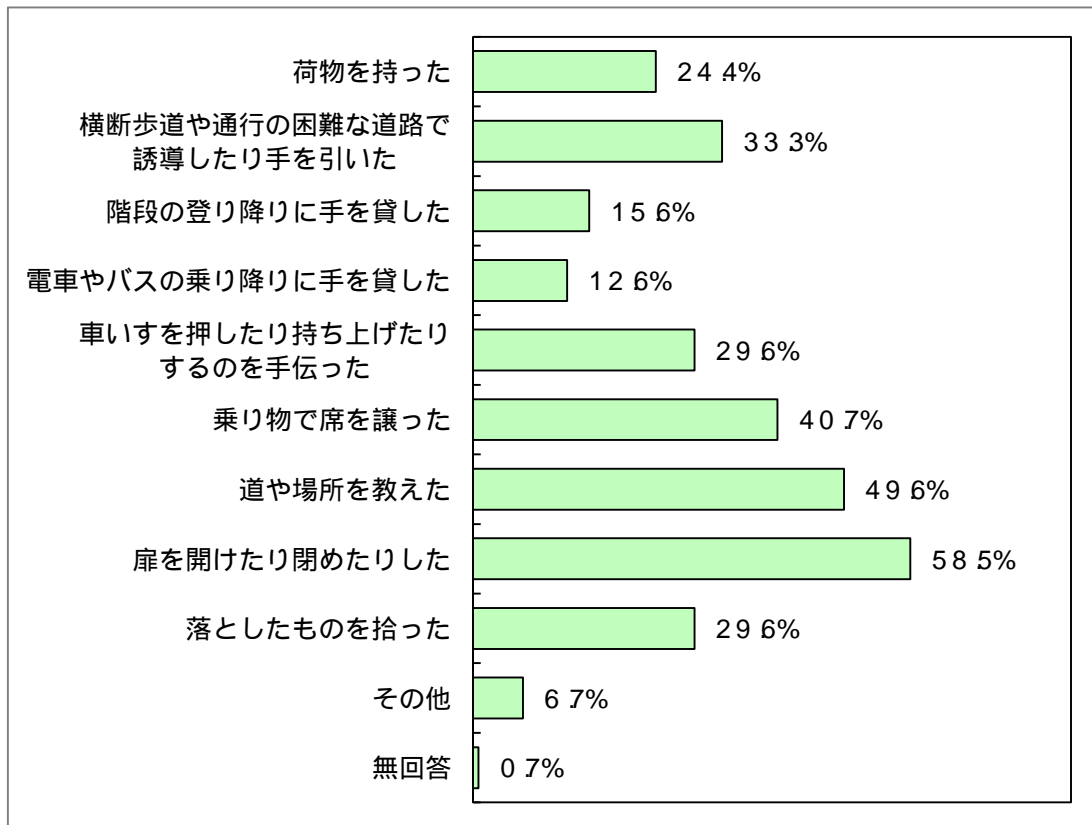
(3) 障がい者や高齢者が困っている際に手助けした内容

(問22で「手助けした」を選択した人を対象)

- 手助けの内容で、最も割合が高いのは、「扉を開けたり閉めたりした(58.5%)」で、次いで「道や場所を教えた(49.6%)」「乗り物で席を譲った(40.7%)」の順になっている。

問23 前記の問22で「手助けした」を選んだ方にお聞きします。具体的にどのような手助けをしましたか。(該当するものをすべて選択)

(n=407)



上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

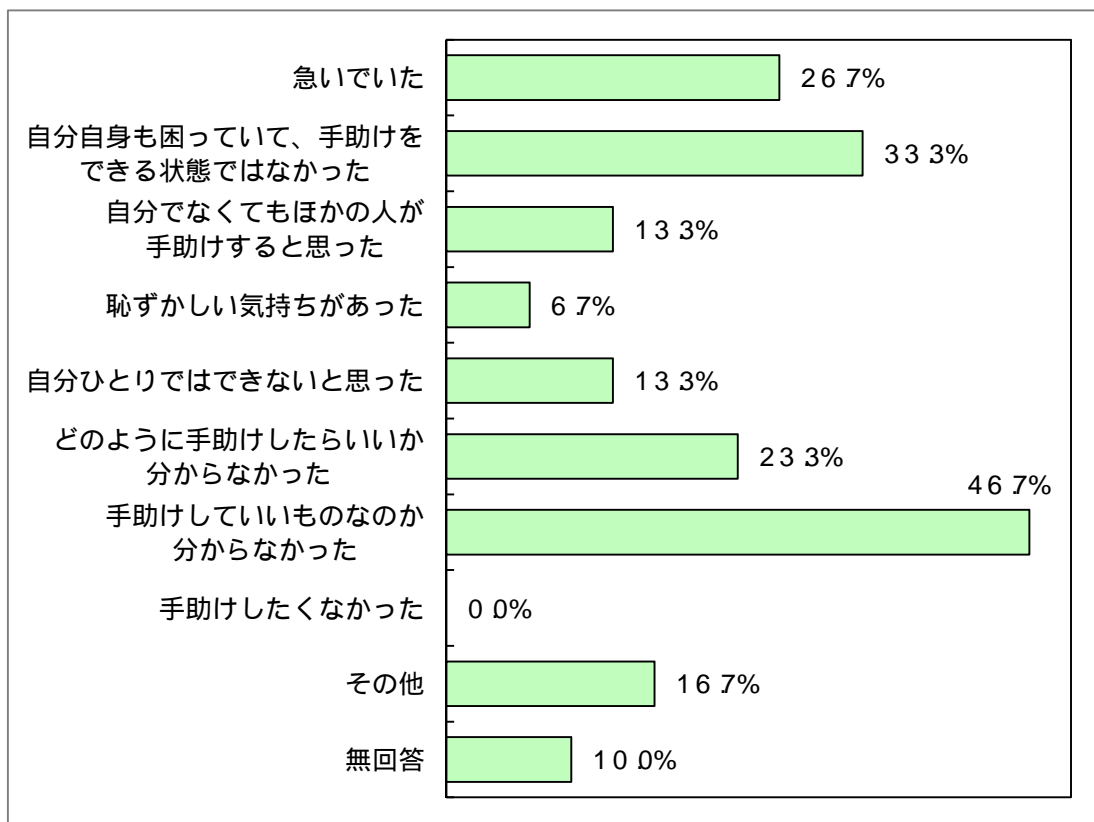
(4) 障がい者や高齢者が困っている際に手助けしなかった理由

(問22で「何もしなかった」を選択した人を対象)

- 手助けしない理由で割合が最も高かったのは、「手助けしていいものなのかなかなか分らなかった(46.7%)」で、次いで「自分自身も困っていて、手助けをできる状態ではなかった(33.3%)」「急いでいた(26.7%)」の順となっている。

問24 前の問22で「何もしなかった」を選んだ方にお聞きします。その理由は何か。(該当するものをすべて選択)

(n=57)



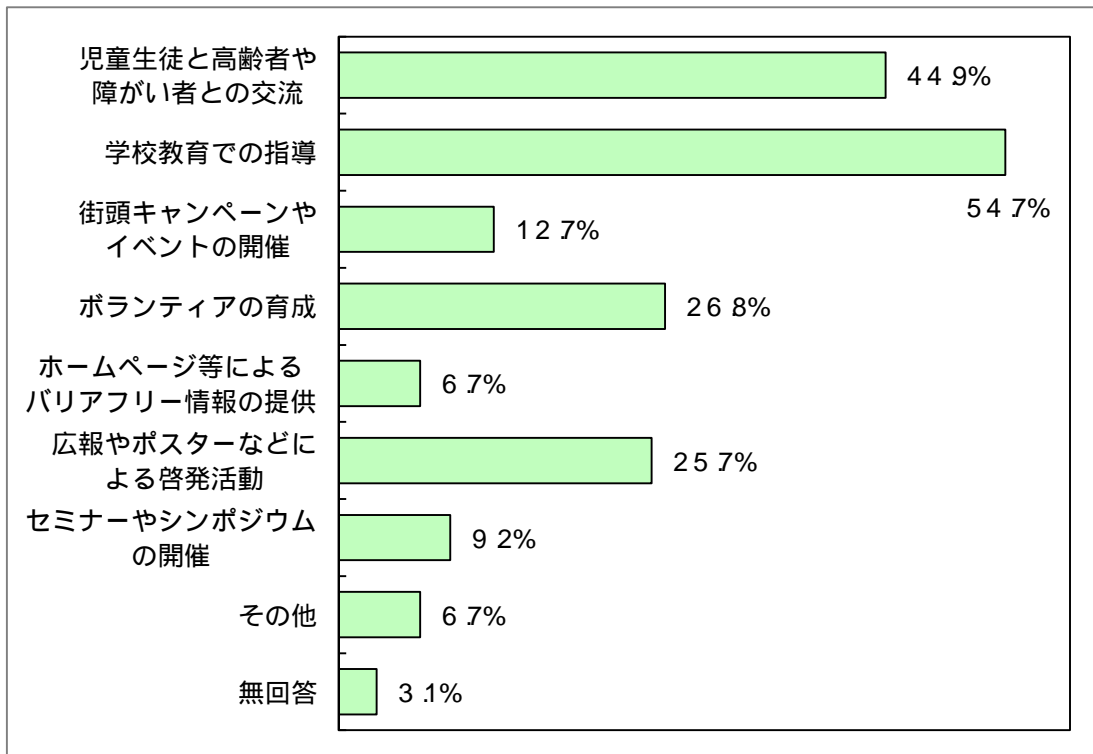
上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

(5) 市民が手助けする行動を促進させるための取組

- 手助けする行動を促進させる取組で最も割合が高かったのは、「学校教育での指導(54.7%)」で、次いで「児童生徒と高齢者や障がい者との交流(44.9%)」「ボランティアの育成(26.8%)」「広報やポスターなどによる啓発活動(25.7%)」の順となっている。

問25 「障がい者や高齢者が困っている場面などで、市民が手助けする行動を促進させていくためにはどのような取組が有効か」お聞きします。(2つ選択)

(n=853)



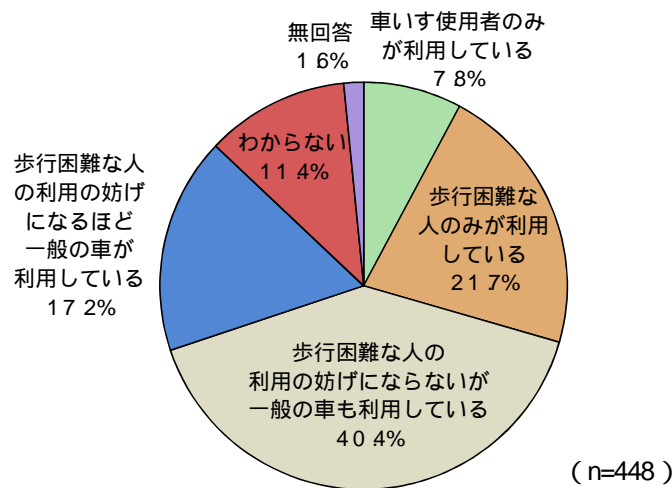
上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

3 車いす駐車スペース、多目的トイレの利用実態

(1) 車いすのマークのついた駐車スペースの利用状況

- 車いすマークのついた駐車スペースの利用に関する見方で、割合が最も高いのが、「歩行困難な人の利用の妨げにならないが、一般の車も利用している（40.4%）」で、次いで「歩行困難な人のみが利用している（21.7%）」、「歩行困難な人の利用の妨げになるほど一般車が利用している（17.2%）」の順となっている。
- 一般車の利用が見受けられるとする「歩行困難な人の利用の妨げにならないが、一般の車も利用している」「歩行困難な人の利用の妨げになるほど一般車が利用している」を合計すると57.6%となる。

問26 商業施設や公共施設にある「車いすのマークのついた駐車スペース」の利用状況をどのように感じているかお聞きします。（1つだけ選択）

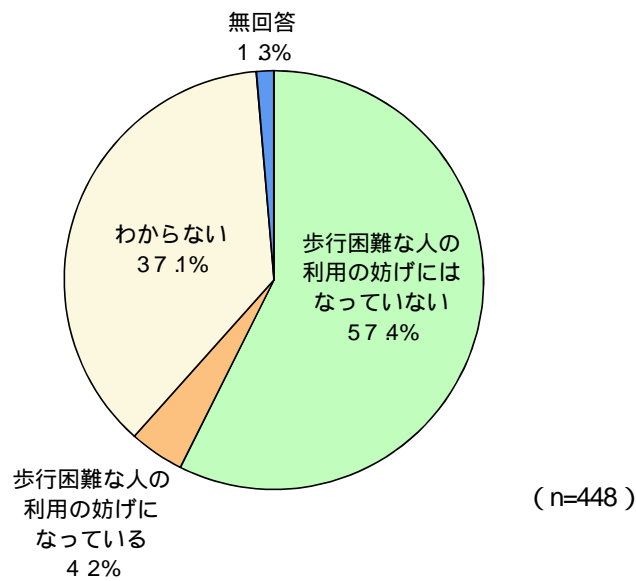


「歩行困難な人」：車いす使用者、高齢者、障がい者、妊婦等

(2) 多目的トイレの利用状況

- 多目的トイレの利用状況の見方で、割合が最も高いのは「歩行困難な人の利用の妨げにはなっていない(57.4%)」で、次いで「わからない(37.1%)」の順になっている。

問27 ここ最近、高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人の利用も可能な「多目的トイレ(みんなのトイレ)」が増えましたが、その利用状況をどのように感じているかお聞きします。(1つだけ選択)



「歩行困難な人」: 車いす使用者、高齢者、障がい者、妊婦等

4 自由意見（バリアフリーの取組について）

- 自由意見は、80人から142件の意見が寄せられた。その中で、意見が多かったのは、「心のバリアフリーに関すること（19件）」、「道路整備に関すること（16件）」であった。

番号	項目	件数
1	心のバリアフリーに関すること	19件
2	道路整備に関すること	16件
3	行政サービス（助成制度、情報提供、職員の対応等）に関する こと	12件
4	多目的トイレに関すること	12件
5	広報広聴に関すること	11件
6	高齢者、障がい者に配慮したまちづくりに関すること	11件
7	駐車場に関すること	10件
8	バリアフリーの推進に関すること	10件
9	子育て環境に関すること	8件
10	除雪に関すること	7件
11	商業施設に関すること	6件
12	公共交通に関すること	5件
13	バリアフリー設備に関すること	3件
14	交通マナーに関すること	3件
15	公園に関すること	2件
16	公共施設に関すること	2件
17	自転車に関すること	2件
18	その他	3件

合計 142件

番号	意見要旨
1	<p>冬の降雪時に新国道を横断する場合、信号機の下に雪が多く、小高くなって渡るのが大変。信号が赤に変わってしまう。八橋イサノ、田五郎信号が渡りきらないうちに赤になる。足の悪い人にはもう少し時間が欲しい。また、横断歩道の前が砂利道のため、手押し車は大変です。大道東橋～田五郎の道路で車とすれすれの箇所があり、雨の時等は傘が車にとられる。</p> <p>【女性、70歳以上、中央】</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・大町2丁目橋前の横断歩道橋の撤却 ・冬期の通学路、歩道除雪の徹底 ・手押し車の高齢者が安心して歩くためのていねいな除雪 <p>【男性、60歳代、北部】</p>
3	<p>私はいつも市役所や駅周辺に自転車走行しています。そこはあまりにも段差がひどく、危険でも車道を走行します。</p> <p>バリアフリーの取り組みに自転車走行が楽しくなるように、車道のようにもう少し自転車道路の段差や舗装が丁寧になるような予算の配分をお願いいたします。【男性、70歳以上、南部】</p>
4	<p>車いすの車輪（小さい物）が交差点の側溝フタにはまらないよう、目を細かくすると道路の排水に影響するし、一方が良くなれば一方にしわよせが行くなどむずかしい面もあるが、バリアフリーは進めるべきだと感じます。</p> <p>【男性、60歳代、東部】</p>
5	<p>道路自体全くバリアフリーではありません。車中心の社会です。歩行者に優しい道路を作ってほしい。特に雪道。もっと歩道の融雪進めるべきです。自分が年をとったときのことを考えていないのですか。いらない道路舗装工事ばかりしないでください。お金の使うところをきちんと考えてください。私たちの税金まじめに考えて。【男性、20歳代、東部】</p>
6	<p>都会に比べてまだ、バリアフリーは不足だと思う。【男性、60歳代、東部】</p>
7	<p>自分も年をとり、目が悪くなってきて入り口とかの段差でハッとすることが多くなりました。バリアフリーは私達にとってますます必要だと感じております。【女性、60歳代、西部】</p>
8	<p>秋田県は高齢者が多いため今後ますますバリアフリーの取組が重要になってくると思う。【女性、40歳代、南部】</p>
9	<p>これからは高齢者が乗っている「電動カー」がすれ違えるほどの広さの歩道が必要になってくるでしょう。【男性、50歳代、南部】</p>
10	<ul style="list-style-type: none"> ・1歳の子供の親ですが、ベビーカーで歩いていると、アスファルト（舗装）の悪い部分が結構あると感じる。（ベビーが眠れない） ・私が住んでいる町内には子供が遊べる公園がないと思う。子供を持って公園は必要だと感じた。【女性、20歳代、中央】

番号	意見要旨
11	<p>各所、建物内のバリアフリーはもちろんですが、まず、道路をよくしてもらいたいです。あと、障がい者用の駐車スペースに健常者が駐車しているのをよく見かけます。警察もこそくな点数稼ぎの違反者ばかりを狙わずに行政と協力し合って、そういう人も取り締まるべきでは（罰金や減点等）。歩行が困難なのは、なにも車いすの人に限ったことではありません。高齢者や足の悪い人たちもたくさんいます。そういう人たちへの配慮や援助も必要だと思います。各施設の利用の値引きやバス、医療費 etc。</p> <p>関係ないことですが、市役所を新しくする必要が本当にあったのでしょうか。つとめている方々だけが心地よいのでは。</p> <p>働いている人（特に女性）の髪や服装がチャラチャラしてだらしがない。市民の意見、本当に取り組みましたか。誰も喜んでいません。もっとお金の使うべき場所が山ほどあります。お金の有効な使い方を考えてください。</p> <p>【女性、30歳代、北部】</p>
12	<p>出来るだけ平坦に道幅広く。【女性、60歳代、南部】</p>
13	<ol style="list-style-type: none"> 1．歩道を広く、自転車も通れる様にし、段差、傾斜、化粧ブロック張りをなくし、車道との区別を判然としてもらいたい。 2．バス停の停止位置と、すべてのバスをノンステップバスにしてもらいたい。 3．バス停に屋根をつけてもらいたい。 4．階段や坂道のところに、部分的に手摺りをつけてもらいたい。 <p>【男性、70歳以上、東部】</p>
14	<p>歩道の整備をもっと進めて欲しいと思います。融雪はもちろんのこと、広さも必要かと思います。自転車が歩道を走ることもあり、大きな通りでは自転車と歩行者のコースが分かるよう整備してもらえたらと思います。</p> <p>最近、歩道がタイル敷のようになっていますが、ガタガタしていて、車イスの方には、動きづらいのではと思っています。杖などもひっかかったりするのではないのでしょうか。タイル敷の歩道については再考が必要ではないのでしょうか。【女性、50歳代、中央】</p>
15	<p>高齢化が進む中、家づくりにおけるバリアフリーは非常に大事だと思います。しかし、バリアフリーへリフォームするにも、資金が必要（個人として難しい面が多い）です。行政の援助、指導が必要だと思いますので、ご支援よろしくお願いします。【男性、60歳代、中央】</p>
16	<p>今後も高齢者が多くなり、バリアフリー化の取組みは必要ですが、多額の金もかかると思う。各町内迄も一挙には大変と思うので、段階的に人手の多い場所からとか、色々段取りが必要だと思います。</p> <p>【男性、70歳以上、東部】</p>

番号	意見要旨
17	足腰の不自由な人がふえてきているので、段差の解消に努力してもらえればありがたい。【男性、70歳以上、中央】
18	新しい公共施設は意識されバリアフリーの取り組みはされていると思います。すべてバリアフリー対応するのはコスト面維持費などで困難とされます。ここは、バリアフリーであるべき場所、施設については市の予算計画に沿って整備すればいいのではないのでしょうか【男性、30歳代、西部】
19	道路が広がって、ゆったりとした歩道がある道が増えるといいと思う。ただし、ここでも自転車用の道路は用意して欲しいと思う。車いすはもちろん、ベビーカーも安心して押すことができるし、健常者の方も安心して道を歩くことができます。また、子育てをしてきた身としての意見となりますが、まだおむつをはずせない子供を連れて歩くのはとても大変です。子連れで出かけるなら、安心して使える授乳室があり、子供のおむつ替えができて、子供をそばに連れて入ることができる個室のトイレがある場所でなければ、外出は難しくなります。なので、比較的、落ち着いてつかえるのは、「大型店舗のみ」に偏ってしまうのが現状です。もし、駅前や、商店街の活性化を視野に入れるなら、そういった細かい部分に気を配って欲しいとも思います。駅前の施設内は古い建物が多いので、トイレが窮屈なイメージが多いです。健常者はトイレのことはさほど気になりませんが、不自由を感じている方は、トイレの心配は大きいのではないのでしょうか。【女性、30歳代、中央】
20	「バリア」とは単なる段差などだけではない。妊娠、出産を経験して初めて思ったのが、たばこの煙によるバリア。職場や飲食店などでは分煙が進んではいるが、まだまだ道や道路に面したコンビニの外などでの喫煙はみうけられ、妊婦や子を持つ親として、煙害という障害も街から取り除いてほしいと強く感じた。また、徒歩や自転車の利用を促したいのであれば、融雪歩道の整備に力を入れてほしい。もちろん障がい者のお年寄りにも優しい街づくりにもつながる。【女性、30歳代、中央】
21	点字ブロックは誰の為に使われているかわからない。車椅子の方にとって段差が多すぎる。精神障がい者に対する「心のバリア」が多すぎる。【男性、30歳代、西部】
22	点字ブロックの整備については、実際に視覚障がいの方の歩行により行っているようですが、これからも意見を聞いて安全第一で設置してください。特に雪どけ後の点検が大事だと思います。多目的トイレは増えてきましたが、まだ不足だと思います。車いすの方も使用するトイレはこれからとても必要になると思います。ふつうにあるトイレを改良して増やすと喜ばれると思います（公園内にも）。【女性、30歳代、中央】

番号	意見要旨
23	<p>自分の住んでいる地域はそれ程でもないが、歩道が極端に狭い場所などが多く、バリアフリーどころの話ではない場所が多いと感じる。私自身、他県出身なので、車社会の秋田だから仕方ないとは思いますが、それにしても歩行すら困難な歩道がとても多いと感じる。他県と比べて歩行者が少ないから問題にならないのかもしれないが、本当に不便である。本当にバリアフリーを目指しているのならば、根本的に考察が必要ではないだろうか。</p> <p>私も最初は移動手段が徒歩や自転車だったが、あまりの歩道の狭さや段差の多さに驚いた。まして、障がいを持っている方はその何倍も感じていることだと思う。</p> <p>秋田をもっと良くしていきたいと本気で考えている方が職員になって頂けることを願っています。「前年通りの予算で、前年通りの仕事さえしていれば文句は言われたい」と考えるのではなく、民間のように常に向上心を持ち、何か新しいことはできないかと考えを変えてほしいです。</p> <p>このアンケートにも多額の市税がかかっていると思います。そこに責任感を持ってほしいです。市税を税として考えるのではなく「自分のお金だったらという感覚をもう一度思い出してほしいと思います。市民の気持ちになってお仕事をされることを願っています。【女性、30歳代、東部】</p>
24	<p>バリアフリーは高齢者だけでなく必要だと思います。現在の新築にはバリアフリーが組込まれているかどうか定かではありませんが、我が家では必要にせまられて一部でバリアフリーにしました。私も高齢になり何かと利用する機会が多くなりました。手摺や段差をなくすと安心です。</p> <p>【女性、70歳以上、中央】</p>
25	<p>車いす駐車スペースの対象でないドライバーの駐車はスーパー、イオンなどでよく見かけます。</p> <p>【女性、30歳代、東部】</p>
26	<p>私自身妊婦だったとき、臨月でもお腹が目立たなかったのに、優先駐車場は利用しづらく、最後まで使えなかった。車いすマークだと妊婦は使っているのかダメなのかわからない。一部の駐車場では妊婦もOKと書いてあるので、OKなのかNGなのかその境目をはっきりしてほしい。車いすの操作方法がまったくわからない。車いすの方が困っていても何をどう助けたらいいのか。【女性、30歳代、西部】</p>
27	<p>多目的トイレについて、日中高齢者が単独で行動するときなど多目的トイレがもう少し増設されればと感じます。ほとんどの高齢者が日中の活動です。【女性、70歳以上、北部】</p>
28	<p>多目的トイレはぜひどんどん増やしてほしいです。</p> <p>【女性、30歳代、中央】</p>

番号	意見要旨
29	<p>職場に車いすの方がいます。普段我々は全く意識していない段差が秋田駅前から山王までの道で意外と多いんだと一緒に歩いているとよく感じます。なかいちなど多くの方が楽しむことが出来る公共のスペースでは段差も意識した方がよいのではと思います。また、蛇足ですが、扉が引き戸でないと通り抜けに時間がかかってしまいます。(オフィスの扉は自動扉に直しました。)車いすも必要です。秋田は東京よりは土地にゆとりがあると思います。箱物を作るときは、幅も意識してはどうでしょうか。あと、お店でトイレがあるかどうか意外とわかりにくいです。(お店は「車いすOK」でも、2階に店があるから結局行けなかったということもしばしばありました。)表示をもっと多くしてもらえると助かります。小さい頃の教育で、自然とそういったことができるような社会になってほしいです。</p> <p>【女性、30歳代、東部】</p>
30	<p>車イスマークの駐車場に停めてある車にはいつも疑問がある。本当にその方たちが停めているのか。なにかしらの設備を設けた方がよいのではないかと思います(特に大型ショッピングセンターなど、土日混雑するようなところ)。</p> <p>【女性、30歳代、北部】</p>
31	<p>車いす用の駐車スペースが最も近くのよい場所にあるが、車いすの人が使っているのは見たことがない。障がい者用とはいえ、最もよい場所が使われないままでは社会的な損失ではないか。障がい者に対する過剰な対応は、かえって双方に心理的なみぞを生むのではないかと思える(実はスーパーの駐車場の話なので、利用者の取組ではないかもしれませんが)。</p> <p>【男性、50歳代、北部】</p>
32	<ul style="list-style-type: none"> ・他県の病院やスーパーの車イス等の駐車場は入口の真ん中などにあり、機能的。秋田は花壇や入口スペースが広く美観は良いが、入口までの距離が長く優しくない。 ・秋田市の除雪は10cm以上の積雪がないと実施されず、高齢者や障がい者は冬の外出は困難。駅前から山王方面への歩道は融雪されているが、横断歩道はツルツルで非常に危ない。もっと総合的な配慮がほしい。横断歩道も融雪されれば、車も止まりやすく安全。 ・富山市には、歩行補助車「まちなかカート」が市内に置かれているそうです。秋田でも高齢者などの生活空間を広めるための手立てがあればと思います。 <p>【男性、60歳代、南部】</p>
33	<p>スーパーマーケットの身障者用駐車場は3ヶ所準備されておりますが、時々、一般車が駐車しております。再三、スーパーに苦情を進言しておりますが、一向に改善されません。店側の猛省と行政の指導をお願い致します。</p> <p>【男性、70歳以上、西部】</p>

番号	意見要旨
34	車いす駐車スペースに常にカラーコーンとか置いていた方がいいと思います。(若い人が大きい車をはみだして停めたとき危ないと思うし、とてもいい気分にはなれない。)【女性、30歳代、北部】
35	今後増加する高齢者やからだの不自由な人たちの為に、公共の建物だけでなく、一般の建物にも障がい者用のトイレの設置や段差の少ない社会づくりに協力してもらうように、行政サイドからの働きかけを要望します。【女性、60歳代、西部】
36	実父(84歳)が障がい者になり介護施設に入所している。認知症にはなっていないが、外出する時は、車いすが必要になった。飲食店に入ってもトイレがバリアフリーになっていないところ、なっても狭くて移動が大変なところ、とりあえずバリアフリーにしたようなところなどあり、飲食店を選ぶのにトイレを基準にしてしまう。娘の私が男子トイレに入ることもある。もう恥ずかしい気持ちもなくなりましたが。楽しいはずの時間がストレスをため込む時間にもなる。公共施設やエリアなかいちなどこれから出来る施設は良くなると思うが、従来からある場所をもう少しみてほしい。外出する機会が増えるように、障がい者はもちろん、付き添いで一緒にいるものの気持ちにたっても考えて貰いたい。【女性、50歳代、西部】
37	ベビーカーでも利用できる施設が多いと思う。子育てに関してはおおむね住みやすい町といえる。【女性、20歳代、南部】
38	多目的トイレは1箇所に1つの割合で設置されているけど、それだけりるとは思えない。1度に2人以上はこないという考えなのか。障がい者は健常者よりも時間がかかるときもあると思う。なのにトイレの数は本当に1つで足りているのか疑問。おむつしている人ばかりではないはず。本当のバリアフリーは使う人の身になって考えなければならないと思う。【女性、40歳代、中央】
39	少しずつ増えてはいるが、実際赤ちゃん用オムツ替えができる施設は限られた場所になっている(大手スーパー等)。観光客や子育て世代にもっと居心地よい町にするにはトイレは重要だと思う。一部補助金等を出してもいいと思うので、人が集まる地域のコンビニ、スーパー、飲食店、公共施設には多目的トイレを全設置する位の勢いが必要だと思う。【男性、30歳代、北部】
40	「みんなのトイレ」があると、小さい子供がいても、安心して施設を利用出来ます。(父親と娘、母親と息子など、親子いっしょにトイレを使えないときは特に助かります。)今後も設置を促進していただけるよう望んでいます。【男性、40歳代、中央】

番号	意見要旨
41	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児を連れて行きやすい店（おむつ台や授乳が充実しているところ）のマップが欲しい。大きなショッピングセンター以外だと、外出はどこなら行けるのかわからず（おむつ替えの都合で）なかなか行けずにいる。現在地からWEBで多目的トイレ等検索できると助かる。 ・街中や公共施設でも、ふと座るようなベンチが少ないと思う。ゴミ放置や長時間使用などのルール違反の管理もしなくては大変だと思うが、街中でやっと歩いているような高齢者が疲れて立ち止まったり、施設内で連れの人待ちなのか体が悪そうな方がただただ立って待っている姿を見ると心苦しい。 ・車いすマークに止めている、どう見ても優先されるべきではない様な人を見るとすごく腹立たしい。商業施策で駐車場に警備員がいるようなところは、そういうルール違反をするような人にも声がけするように、市としての姿勢を企業に伝えることは出来ないか。 <p>【女性、20歳代、北部】</p>
42	<p>自身、高齢でいろいろ病気があり、それに子供も障がい者なので大変困っています。子供も自立が出来ず、持家ですが、これから先、不安です。</p> <p>【女性、70歳以上、南部】</p>
43	<p>私自身、4級の下肢障がい者です。以前は「出かけた先に、洋式トイレがあるだろうか」という心配がありましたが、この頃では、設置箇所も増え、大分改善されたように思います。この点に関しては、関係各所の皆様のご努力のおかげと感謝いたしております。20年ほど前、福岡県に出かけた折のことです。当時秋田では、まだまだ困ることが多かったのですが、あちらでは大体の要所には洋式トイレがあり、「ああ、やはり、大きな都市は違うなあ」と思ったものでした。また、いろいろなサービスカウンター（役所・鉄道等）で、高齢者や障がい者に対する接し方が行き届いていて、私の足が悪いと見るや、すぐに「どうぞお座りください」と椅子を勧められました。立たされ放しということがまずありませんでした。他にも「サービス」の意識が高いのだなと思わせられることが多々ありました。現場でのサービスの徹底が図られていたのだなと思われれます。そういった場面では「ああ、秋田もこうなるといいなあ」と願ったものです。このような「ソフト」面の充実が本当は何より大切ではないでしょうか。どんなに施設や設備など「ハード」の面が良くなっていったとしても、最終的には、それらを管理する側、使いこなす側、双方の「ひと」の問題に帰着するのではないかと考えます。【女性、50歳代、中央】</p>
44	<p>高齢者の多い秋田にとって共生社会の形成は大事なことだと思います。</p> <p>【女性、40歳代、北部】</p>

番号	意見要旨
45	<p>バリアフリーという言葉聞いて久しいですが、一般的には物理的な面でバリアフリーという言葉を使うことが多いと思います。秋田県は一年のうち数か月は雪で覆われる地域ですが、冬の道路が良くないと日頃感じています。降雪により、歩道は歩くことが困難となり高齢者や障害のある方は特に、外出手段が狭められる現状であると思います。日常生活において食料品の買い物は特に重要ですが、近隣のスーパーへ行くことさえままならない状況です。車道の整備も大切ですが、それ以上に誰もが、どの季節でも外出しやすい環境作りにもっと力を入れて欲しいと考えます。多額の予算をかけて、立派な道路や地下道を作ってもこの先予測される少子高齢化が進展した秋田の人口像を考えるとその道路を利用できる人がどの位になるかは、予測されるのではないのでしょうか。建設予算のあり方に疑問を感じます。また交通手段の一つであるバスの利用も利用者が少ない路線はどんどん廃止され、たとえ残された路線でも時間帯が狭められている現状です。通勤手段として選択したくても時間が合わず、他の通勤手段に頼らざるを得ない状況です。医療・福祉・商業・行政を集約した街を目指す時に、この道路や交通事情を改善して欲しいと思います。例えば、循環バスや歩道や車道の融雪道を増やす等。高齢者や障がい者はじめ市民が過ごしやすい街づくりを願います。また、心理的面でバリアフリーを考えると障がい者の方たちの偏見は相変わらずで、どこか人と違ったとか、怖いとか、近づきたくないなどマイナスなイメージが存在し、他人事としてみているように思います。誰もが過ごしやすい、障壁の無い世の中を目指すためには、幼稚園や小学校の時点で更にバリアフリーについての教育が大切であると考えます。そのためには高齢者や障がい者との交流を幼少期から図れるような教育体制を望みます。少しでも相手の立場に立って物事を考えることができる心の教育を学校や家庭、地域で育むことが大切であり、テレビ・PC・携帯などの情報メディアの存在が大きくなっている現在、それらを今以上に活用するのも一手段だと思えます。【女性、50歳代、東部】</p>
46	<p>秋田は全国一の高齢化です。数十年後には、高齢者すらいなくなります。バリアフリーを進めるのだったら、全国一安心、安全、高齢者にやさしい町づくりをめざしてください。そして、全国から高齢者が移住する様なまちにしてください。【男性、40歳代、東部】</p>
47	<p>以前、千秋公園にベビーカーを持って行った所、スロープがある道と階段しかない道があり、上から降りる時、ベビーカーをかついで子供を抱っこして降りた経験がある。子そだて世代ほど、自然や行事に出る世代はないと思うのに、こういう事があると、あと行くのをやめようと思ってしまう。【女性、30歳代、中央】</p>

番号	意見要旨
48	五城目のジャスコのように、バリアフリーのショッピングモールや、商業施設をもっと増やすべきだと思う。これからどんどん高齢化が進むのでお年寄りが安全に安心して住めるまちづくりをしてもらいたい。 【女性、40歳代、中央】
49	段差をなくしたり、スロープを作ったり、手すりを作ったりすることも必要だと思うが、ただお金をかけるより困っている人をみたら声をかけたり、手を貸すなど、もっと心のバリアフリーを実践できるような啓もう活動や家庭内教育をしていくべきだと思う。いくらハードが整ったところで心にバリアをはったら真のバリアフリーではありません。 【男性、60歳代、北部】
50	総合病院等の待合にもっと車いす用のスペースをもうけてもらいたい。そして健常者の方々がそのスペースに座らないよう心がけてもらいたい。 【男性、40歳代、南部】
51	障がい者の方のために1円から募金して貰うため、募金活動をして支援したりして、まちづくり発展にいかせばいいと思います。 【男性、20歳代、北部】
52	町全体が高齢者や障がい者の利用しやすい状態になっていない。もっとやさしいまちづくりをしてほしい。【女性、60歳代、北部】
53	健常者の私達には気づかないことが多い。不自由な方から、もっと意見を聞いて欲しい。【女性、30歳代、南部】
54	バリアフリー化が進んでいると思うが、今後ますますの高齢化が確実になるため、障がい者等、弱者に対する配慮が全ての市内に生活している人にとって住みやすい社会になり得るか重要と思います。 【男性、50歳代、北部】
55	障がい者の意見を取り入れ、住みやすいまちづくりをして貰いたい。 【男性、50歳代、西部】
56	バリアフリーについては、もうすでに行っていることと思うが、何よりも“障がい者の声”を聞くことが大切なので、行政・障がい者の方々・市民との3者会談を他分野にわたって行い実行することが1番の取り組みだと思う。【女性、60歳代、中央】
57	バリアフリーはどんどん取り入れた方が良く思います。アンケートの結果はHPだけでなく広報などでも知らせてほしい。 【男性、60歳代、中央】
58	どのような取り組みをしているのかいまいちよくわかりません。イベントの開催、学校での指導、社会人への講義など、もっと市民に広げた方がいいと思います。【女性、20歳代、東部】

番号	意見要旨
59	<p>障がい者や高齢者が困っている場面では、私は積極的に声かけをしたいと常に思っています。夫は困っている人がいる時に決して手を差し伸べようとしません。なぜなら誰もいない時にその方は自力でなんとかする必要があるのだから、為にならないし練習にならないと言います。正解はあるのでしょうか。CMや、TV、ラジオを利用し手助けを促進する呼びかける必要があると思います。【女性、40歳代、中央】</p>
60	<p>ホームページや広報、ポスターなどで呼びかけてもなかなか実効はむずかしいと思われます。しかし、いざその場面に遭遇すれば秋田の人は手助けし、声をかけると思います。先月も新しくなった市役所で戸惑う方（私と同年齢位）を見かけ話しかけましたが、ふだんの学校での指導やしつけ、駅前など人々の集まるところでのキャンペーンなどは効果がありそうに思えます。地道に人々の「心」に助け合いという同じ「いま」を生きているということで浸透させていく事が必要だと思えます。トイレの事に関しては込んでいたりすればまったく関係なしに使用されています。【女性、60歳代、西部】</p>
61	<p>バリアフリーは今の生活圏において特に感じることはないが、高齢者などが自家用車で運転しなくても良い移動手段が充実すれば良いと思います。【男性、40歳代、南部】</p>
62	<p>秋田はバリアフリーは遅れている。偏見がひどい。もっと障がい者の声をきいてほしい。【女性、30歳代、東部】</p>
63	<ol style="list-style-type: none"> 1．学校生徒に多いのが集団で道路狭しと対向の人に無関心な事例が見受けられる。特にイベント時などは事例大。 2．歩道を横切って車道に出ようとする車が右方向ばかり見て左方向からの歩行者や自転車を無視する事例が多い。 3．理由は明らかではないが最近横断歩道をわたる際に今までだと「歩行者優先」を無視するような車が多数散見出来たが今年のいつごろからは判然としないが、今年は「歩行者優先」が守られている。免許更新時の教育かまたは警察の取締りの故かよい傾向だと思う。 4．感音講前の道路には歩道がありません。最近車数が増加の傾向になり、ラッシュ時などは延々と続いている場合も見られます。側溝の上を通るのですが、側溝自体が傾斜して来ており、歩行に危険を感じます。是非検査をしてください。 5．臨海道路の東側歩道に施設内の植樹の枝葉が出張って歩行者の（自転車を含め）往来を妨害している。施設管理の方で処理して頂けないものでしょうか。同様事例は町内にも見られ、問題にされたことがある。 <p>【男性、70歳以上、北部】</p>

番号	意見要旨
64	行政の机上の空論よりも、当事者や関係者等の声、意見を重んじるべきだと思います。【女性、30歳代、中央】
65	高齢者が、信号や横断歩道のない場所を渡っていて、ひやひやする場面が多い。バリアフリーで住みやすい環境を整えるのは大事だが、高齢者自身の安全意識、というか危機管理意識を高める取組を強化して欲しい。田舎ならではかもしれませんが、本当に危ないです。【女性、20歳代、東部】
66	バリアフリーに関する制度を利用しました。敷居につまずくことも無くなった。階段の手すり、玄関の手すり助かっています。シャッターは持ち上げられなくなった。これを交換したいと思うが、(別の戸に)お金の出どころがない。【女性、70歳以上、中央】
67	秋田市は自動車と歩行者にはいいが、自転車の走りにくい町だと思う。秋田市民(秋田県民)に必要なのは、心のバリアフリーのほうだと思う。都市計画課には関係がないかもしれないけれど、身体障がい者の方もそうだが、知的・精神・発達障がい者への理解度が無くノーマライゼーションは全くうまくいっていないと思う。【女性、50歳代、中央】
68	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田市の公共施設の多くは吹き抜け構造を採用している。ご老人や、障がいのある方に不便なことばかりだといつも怒りを感じている。また、病院も駐車場から入り口まで少しでも歩行距離を短くしようという工夫が感じられない。 ・バリアフリーではないが、大型商業施設で切手を買うため、ぐるぐる長い距離を歩かされているご老人を見たことがある。大型商業施設には系列のコンビニを入りに口に設けるなどして、不自由な体で長く歩行させないような工夫を求めたい。【女性、50歳代、北部】
69	障がい者の方には大変住みにくい町だと思います。電車もバスも不便ですし車社会のため、車中心の生活スタイルになりすぎて、高齢者や障がいのある方々への徒歩での生活にマイナスのまちづくりになっている気がします。行政がいくらがんばっても限界があるので、教育現場からも協力を仰ぎ、個人の意識レベルを上げると良いかもしれません。たばこのポイ捨てが多すぎるのもやや気になります。【女性、40歳代、中央】
70	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関(特にバス)の職員への教育、研修 高齢者へのやさしい声掛けができるように。利用者に対する配慮等。 ・困ったときに立ち寄ることができる場所を設ける。 【女性、50歳代、東部】
71	バリアフリーは良いけど、ノーマライゼーション等何が何でも横文字をしようとしなくて日本語を使って欲しい。今は横文字があふれすぎている。老人にはさっぱりわかりません。【男性、60歳代、東部】

番号	意見要旨
72	<ul style="list-style-type: none"> ・盲導犬、聴導犬への理解の普及、導入の支援 ・障がい者の交流機会づくり <p>【男性、50歳代、中央】</p>
73	<p>あまりむずかしい言葉ではなく、高齢者にもわかる日本語を使って下さい。ひさしぶりに市役所に行きました。一番ビックリしたのは何を話しているのか意味がわからなかった事でした。特に高齢者が必要とする部署はもっと優しい言葉を使ってください。そこから会話が始まるのではないのでしょうか。お願いします。【女性、60歳代、北部】</p>
74	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、秋田市障がい福祉課の窓口対応、電話対応がひどすぎる。何度いやな思いをしたことか。障がい者とその家族を見下しているとしたか思えない。だまされたこともある。職員のミスを正当化するために、口から出まかせを言うのは、公務員として最低。平然と嘘をつくのはやめて欲しい。ひどい。 ・選挙のとき、障害のある家族の介助をお願いしたとき、通路の説明と「その人について行って教えてもらって」と本人に伝えただけで立会人から「そこ、会話しないでください」と大声で冷たく言われた。以来選挙に行きたくなくなった。バリアフリーはまず行政に携わる人々の意識改革が必要。 ・中学生の自転車のマナーが悪すぎる。自転車のマナーも守れない中学生にバリアフリーについての教育は大変なので、小学生のうちからしっかり教育する必要がある。特別支援学校と隔離するからこうなる。 ・秋田市の成人式に特別支援学校の席がない。市立の中学校の席はあるのに、県立だからないのか。同じ秋田市民なのに行政が隔てている。だから行けなかった。障がい者に対する優しさが不足している。行政はもっと工夫が必要。バリアフリーの取組は市役所職員の意識改革が最も大事なんじゃないか。 <p>【女性、20歳代、北部】</p>
75	<p>大多数の方が賛成した意見が正しいこととは思いいにくい。市の運営は信念を持ってぶれない方針が大切かもしれない。但し、意見には耳を傾けるべし。【女性、70歳以上、北部】</p>
76	<p>秋田市だけに言える事ではなくて、最近の風潮として。大雨、大雪の日にかサもなく荷物を持って歩く高齢者や障がい者、子供たちを見て、自分は車を運転などしていると、助けてあげたり、近くまで乗せてあげようか、カサをかそうか思っても、後々その家族になにか言われるかと思うと、声かけできません（これはどうにもならないでしょうが）。</p> <p>【女性、20歳代、西部】</p>

番号	意見要旨
77	バリアフリーの取組については、大変良いことだと思います。以前より、様々な分野で、進んできています。世の中でも、取り上げられているように、ソフト面でのバリアフリーは秋田市に限らずまだまだな気がします。担当者によって、介護状況に差があったり、本来サービスを受けるべき状態の方が、受けられなかったり、大丈夫な方が認定を受けているような、そんな現実がある気がします。本人をはじめ、介護や病人を抱えている家族も孤独なのです。実際は助けが欲しくても声をあげられずにいるかたもいるのです。なかなかデリケートで難しい問題ですので、これからみんなが住みよくなる市であることを希望します。【女性、40歳代、河辺】
78	小さい子供がいるのでベビーカーをよく利用します。駐車場内の段差が気になるところがあります。【女性、30歳代、西部】
79	障がい者や高齢者への理解を深めるための学校教育など特に重要だと感じます。【女性、40歳代、中央】
80	ハードのバリアフリーも必要だが、心のバリアフリーがもっと大事だと思う。【男性、60歳代、北部】

第 5 章
調 査 結 果 集 計 表

【資料3】

問 1 あなたの「性別」をお答えください。

選択項目	回答者数	割合
男性	182	40.6%
女性	266	59.4%
合計	448	100.0%

問 2 あなたの「年齢区分」をお答えください。

選択項目	回答者数	割合
20～29歳	34	7.6%
30～39歳	61	13.6%
40～49歳	62	13.8%
50～59歳	76	17.0%
60～69歳	96	21.4%
70歳以上	119	26.6%
合計	448	100.0%

問 3 あなたの「職業（主なもの）」をお答えください。

選択項目	回答者数	割合
会社員	106	23.7%
公務員・教員	28	6.3%
自営業	25	5.6%
主婦又は主夫	84	18.8%
パート・アルバイト・内職	55	12.3%
学生	4	0.9%
無職	122	27.2%
その他	23	5.1%
無回答	1	0.2%
合計	448	100.0%

問 4 あなたの「お住まい」の形態をお答えください。

選択項目	回答者数	割合
一戸建て持ち家	338	75.4%
分譲マンション	16	3.6%
公営住宅	17	3.8%
一戸建て借家	18	4.0%
民間賃貸のマンション 又はアパート	49	10.9%
その他	10	2.2%
合計	448	100.0%

問 5 あなたの「家族構成」をお答えください。

選択項目	回答者数	割合
単身	55	12.3%
2世代世帯	217	48.4%
夫婦のみ	118	26.3%
3世代以上の世帯	39	8.7%
その他	18	4.0%
無回答	1	0.2%
合計	448	100.0%

問 6 あなたの「お住まいの地域」をお答えください。

選択項目	回答者数	割合
中央地域	99	22.1%
東部地域	89	19.9%
西部地域	51	11.4%
南部地域	73	16.3%
北部地域	115	25.7%
河辺地域	16	3.6%
雄和地域	5	1.1%
合計	448	100.0%

問 20 次の「言葉の意味」を知っているかどうかお聞きします。

1 バリアフリー

選択項目	全体	年代					
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
知っており、大体説明できる	333 74.3%	27 79.4%	48 78.7%	51 82.3%	57 75.0%	79 82.3%	71 59.7%
聞いたことはあるが、説明できない	97 21.7%	5 14.7%	12 19.7%	10 16.1%	18 23.7%	15 15.6%	37 31.1%
知らない	17 3.8%	2 5.9%	1 1.6%	1 1.6%	1 1.3%	2 2.1%	10 8.4%
その他	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計	448 100.0%	34 100.0%	61 100.0%	62 100.0%	76 100.0%	96 100.0%	119 100.0%

2 ユニバーサルデザイン

選択項目	全体	年代					
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
知っており、大体説明できる	95 21.2%	17 50.0%	15 24.6%	18 29.0%	23 30.3%	14 14.6%	8 6.7%
聞いたことはあるが、説明できない	162 36.2%	10 29.4%	21 34.4%	20 32.3%	22 28.9%	43 44.8%	46 38.7%
知らない	190 42.4%	7 20.6%	25 41.0%	24 38.7%	31 40.8%	38 39.6%	65 54.6%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%
合計	448 100.0%	34 100.0%	61 100.0%	62 100.0%	76 100.0%	96 100.0%	119 100.0%

3 ノーマライゼーション

選択項目	全体	年代					
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
知っており、大体説明できる	62 13.8%	5 14.7%	14 23.0%	14 22.6%	16 21.1%	6 6.3%	7 5.9%
聞いたことはあるが、説明できない	109 24.3%	12 35.3%	16 26.2%	13 21.0%	14 18.4%	28 29.2%	26 21.8%
知らない	277 61.8%	17 50.0%	31 50.8%	35 56.5%	46 60.5%	62 64.6%	86 72.3%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計	448 100.0%	34 100.0%	61 100.0%	62 100.0%	76 100.0%	96 100.0%	119 100.0%

問 21 あなたが「ここ1～2年の間に、外出先で、障がい者や高齢者が困っている場面を見かけたことがあるか」お聞きします。

選択項目	回答者数	割合
ある	178	39.7%
ない	270	60.3%
無回答	0	0.0%
合計	448	100.0%

問 22 前の問 21 で「ある」を選んだ方にお聞きします。その時にあなたはどのようにしましたか。

選択項目	回答者数	割合
手助けした	135	75.8%
何もしなかった	30	16.9%
その他	8	4.5%
無回答	5	2.8%
合計	178	100.0%

問 23 前記の問 22 で「手助けした」を選んだ方にお聞きします。具体的にどのような手助けをされましたか。

選択項目	回答者数	割合
荷物を持った	33	24.4%
横断歩道や通行の困難な道路で誘導したり手を引いた	45	33.3%
階段の登り降りに手を貸した	21	15.6%
電車やバスの乗り降りに手を貸した	17	12.6%
車いすを押したり持ち上げたりするのを手伝った	40	29.6%
乗り物で席を譲った	55	40.7%
道や場所を教えた	67	49.6%
扉を開けたり閉めたりした	79	58.5%
落としたりものを拾った	40	29.6%
その他	9	6.7%
無回答	1	0.7%
合計	407	301.5%

【資料3】

問 24 前の問 22 で「何もしなかった」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。

選択項目	回答者数	割合
急いでいた	8	26.7%
自分自身も困っていて、手助けをできる状態ではなかった	10	33.3%
自分でなくてもほかの人が手助けすると思った	4	13.3%
恥ずかしい気持ちがあった	2	6.7%
自分ひとりではできないと思った	4	13.3%
どのように手助けしたらいいか分からなかった	7	23.3%
手助けしていいものなのか分からなかった	14	46.7%
手助けしたくなかった	0	0.0%
その他	5	16.7%
無回答	3	10.0%
合計	57	190.0%

問 25 「障がい者や高齢者が困っている場面などで、市民が手助けする行動を促進させていくためにはどのような取組が有効か」お聞きします。

選択項目	回答者数	割合
児童生徒と高齢者や障がい者との交流	201	44.9%
学校教育での指導	245	54.7%
街頭キャンペーンやイベントの開催	57	12.7%
ボランティアの育成	120	26.8%
ホームページ等によるバリアフリー情報の提供	30	6.7%
広報やポスターなどによる啓発活動	115	25.7%
セミナーやシンポジウムの開催	41	9.2%
その他	30	6.7%
無回答	14	3.1%
合計	853	190.4%

問 26 商業施設や公共施設にある「車いすのマークのついた駐車スペース」の利用状況をどのように感じているかお聞きします。

選択項目	回答者数	割合
車いす使用者のみが利用している	35	7.8%
車いす使用者や高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人のみが利用している	97	21.7%
車いす使用者や高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人の利用の妨げにならないが、一般の車も利用している	181	40.4%
車いす使用者や高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人の利用の妨げになるほど、一般の車も利用している	77	17.2%
わからない	51	11.4%
無回答	7	1.6%
合計	448	100.0%

問 27 ここ最近、高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人の利用も可能な「多目的トイレ（みんなのトイレ）」が増えましたが、その利用状況をどのように感じているかお聞きします。

選択項目	回答者数	割合
高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人の利用の妨げにはなっていない	257	57.4%
高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人の利用の妨げになっている	19	4.2%
わからない	166	37.1%
無回答	6	1.3%
合計	448	100.0%

第 6 章
関 係 資 料

秋田市の『都市計画』および『バリアフリー』に関するアンケート調査 ご協力をお願い

日頃より、市政の運営に際しまして、特段のご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

本市では、良好な市民生活の維持・向上を目指し、平成23年に「第6次秋田市総合計画」および「秋田市バリアフリー基本構想」を策定し、まちづくりを進めています。

現在、これらの計画等の中間年（5年）を経過したことから、これまでの取組に対し、様々な観点から評価を行っています。

このたび、その評価の一環として、性別・年齢・地域別の人口比で、無作為に選んだ20歳以上の市民（千人）を対象にアンケート調査を実施することとしました。

このアンケート調査で得られたデータは、計画等の評価はもとより、今後の施策展開の貴重な資料として活用しますので、趣旨をご理解の上、調査にご協力をいただきますようお願いいたします。

【参考のホームページ】

第6次秋田市総合都市計画

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ur/im/keikaku/6thmasterplan/default.htm>

秋田市バリアフリー基本構想

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ur/im/keikaku/11koutuu-BF/bfkyougikai/default.htm>

【アンケートの集計と公表】

このアンケートの集計は秋田市都市計画課が行います。また、集計結果は市のホームページに掲載します。

調査票は、同封したものをご使用ください。

回答は、お送りした封筒の宛名の方がお答えください。事情により、ご本人の記入が難しい場合は、ご本人の意向を聞いて、ご家族など代理の方が記入ください。

調査票への記入は、ボールペン又は鉛筆をご使用ください。

この調査は、無記名で、統計的な分析のみを行いますので、ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることは一切ありません。ご自身のお気持ち、ご意向に一番あてはまる回答を記入ください。

調査票への記入が終わりましたら、同封の返信用封筒（切手は不用）に入れて、平成28年7月1日までに郵便ポストに投函ください。

【問い合わせ先】

秋田市 都市整備部 都市計画課 計画担当

〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号（本庁舎4階）

TEL 018-888-5764 FAX 018-888-5763

E-mail ro-urim@city.akita.akita.jp

調 査 票

あなたご自身についてお伺いします

問1 あなたの「性別」をお答えください。
あてはまるものを選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1 . 男 2 . 女

問2 あなたの「年齢区分」をお答えください。
あてはまるものを選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1 . 20～29歳 2 . 30～39歳 3 . 40～49歳
4 . 50～59歳 5 . 60～69歳 6 . 70歳以上

問3 あなたの「職業（主なもの）」をお答えください。
あてはまるものを選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1 . 会社員 2 . 公務員・教員 3 . 自営業
4 . 主婦又は主夫 5 . パート・アルバイト・内職
6 . 学生 7 . 無職
8 . その他 ()

問4 あなたの「お住まい」の形態をお答えください。
あてはまるものを選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1 . 一戸建て持ち家 2 . 分譲マンション
3 . 公営住宅 4 . 一戸建て借家
5 . 民間賃貸のマンション又はアパート
6 . その他 ()

問5 あなたの「家族構成」をお答えください。
あてはまるものを選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1 . 単身 2 . 親と子、夫婦と親など2世代世帯
3 . 夫婦のみ 4 . 3世代（親と子と孫）以上の世帯
5 . その他 ()

問6 あなたの「お住まいの地域」をお答えください。
 あてはまるものを選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1 . 中央地域	(大町、旭北、旭南、川元、川尻、山王、高陽、保戸野、泉(JR線西側)、千秋、中通、南通、檜山、茨島、八橋)
2 . 東部地域	(東通、手形、手形(字)、手形山、泉(JR線東側)、旭川、新藤田、濁川、添川、山内、仁別、広面、柳田、横森、桜、桜ガ丘、桜台、大平台、下北手、太平)
3 . 西部地域	(新屋、勝平、浜田、豊岩、下浜、向浜)
4 . 南部地域	(牛島東、牛島西、牛島南、卸町、大住、仁井田、御野場、御所野、四ツ小屋、上北手、山手台)
5 . 北部地域	(寺内、外旭川、土崎港中央、土崎港東、土崎港西、土崎港南、土崎港北、左記以外の土崎港、将軍野東、将軍野南、左記以外の将軍野、港北、飯島、金足、下新城、上新城)
6 . 河辺地域	
7 . 雄和地域	

問7 あなたの「平日の主な交通(移動)手段」をお答えください。
 あてはまるものを1つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1 . 自家用車	2 . バイク	3 . 自転車
4 . 鉄道	5 . バス	6 . 徒歩
7 . タクシー	8 . その他 ()	

問8 あなたの「休日の主な交通(移動)手段」をお答えください。
 あてはまるものを1つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1 . 自家用車	2 . バイク	3 . 自転車
4 . 鉄道	5 . バス	6 . 徒歩
7 . タクシー	8 . その他 ()	

1 都市計画について

あなたが住んでいる地域（おおむね小学校区）のことについてお伺いします

問9 現在、あなたが住んでいる地域の生活環境の満足度を項目ごとにお聞きします。
あてはまるものを1つ選んで番号に をつけてください。

項 目		現在の満足度				
		満 足	やや満足	普 通	やや不満	不 満
交 通	生活道路の整備状況	1	2	3	4	5
	交通渋滞の状況	1	2	3	4	5
	電車・バスの便利さ	1	2	3	4	5
自 然	緑の豊かさ	1	2	3	4	5
	川や水路のきれいさ	1	2	3	4	5
生 活 環 境	公園・緑地	1	2	3	4	5
	上・下水道の整備状況	1	2	3	4	5
安 全	火災・延焼に対する安全性	1	2	3	4	5
	地震に対する安全性	1	2	3	4	5
	水害に対する安全性	1	2	3	4	5
	防犯面での安全性	1	2	3	4	5
子育て	小・中学校の近さ	1	2	3	4	5
	保育園・幼稚園の近さ	1	2	3	4	5
	子育て支援サービス施設 (児童館での放課後児童ク ラブや民間の学童クラブな ど)の近さ	1	2	3	4	5
	親子で利用しやすい施設 (就学前の子どもと保護者 が一緒に利用する施設な ど)の近さ	1	2	3	4	5
生活し やすさ	日常の買物の便利さ	1	2	3	4	5
	文化・スポーツ施設の近さ	1	2	3	4	5
	福祉施設の近さ	1	2	3	4	5
	道路などの歩きやすさ	1	2	3	4	5
景 観	自然景観の美しさ	1	2	3	4	5
	Qあちなみの美しさ	1	2	3	4	5
医 療	Q医療施設の近さ	1	2	3	4	5
地域全体の評価		1	2	3	4	5

【資料3】

問10 現在、あなたが住んでいる地域で問題だと感じている土地や建物についてお聞きします。
特に問題になっている事項を2つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

- | | | |
|----------------------------|--------------|----------|
| 1 . 空き地 | 2 . 駐車場 | 3 . 空き家 |
| 4 . 空き店舗 | 5 . 工場 | 6 . 事業所 |
| 7 . 24時間営業店 | 8 . 中高層マンション | 9 . アパート |
| 10 . 遊戯施設 (パチンコ、ゲームセンターなど) | | |
| 11 . 特にない | | |
| 12 . その他 () | | |

問11 将来の居住の意向 (あなたがお住まいの地域に住み続けるかどうか) についてお聞きします。
あてはまるものを1つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

- | |
|--------------------------|
| 1 . 不便を感じていないので住みたい |
| 2 . 不便は感じているが住みたい |
| 3 . 不便なので住み替えたい |
| 4 . 将来、不便になるようであれば住み替えたい |
| 5 . わからない |
| 6 . その他 () |

--

問12 前の問11で「3 . 不便なので住み替えたい」又は「4 . 将来、不便になるようであれば住み替えたい」を選んだ方にお聞きします。(それ以外の番号を選んだ方は問13へお進みください)
もし、住み替える (費用を考慮せず) としたら、どのような場所が良いですか
あてはまるものを1つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

- | |
|------------------------|
| 1 . 商店や病院など生活利便施設がある地域 |
| 2 . 鉄道やバスなどを利用しやすい地域 |
| 3 . 通勤地や通学地に近い地域 |
| 4 . 自然や田園など緑が多い地域 |
| 5 . その他 () |

--

交通環境についてお伺いします

問13 徒歩や自転車の利用に際しての改善点についてお聞きします。
重要だと思う事項を3つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1. 車の運転マナー	2. 歩道の設置
3. 歩道の広さ	4. 車の交通量
5. 路面の凹凸、段差	6. 路上の電柱や標識
7. 路上の看板や広告	8. 違法駐車
9. 交通安全施設(ガードレールや信号など)	
10. 客待ちタクシー	11. 自転車のマナー
12. 駐輪できる場所	13. 駐輪場の形態・料金
14. サイクリングロード	15. 除雪
16. 特にない	17. その他()

問14 自動車の利用に際しての改善点についてお聞きします。
重要だと思う事項を2つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1. 住宅地の道路	2. 幹線道路
3. 交通渋滞	4. 交通規制(一方通行、時間規制)
5. 駐車場	6. 道路の交通情報
7. 交通安全施設(ガードレールや信号など)	
8. 除雪	9. 特にない
10. その他()	

秋田市のまちづくりの方針や土地利用のルールについて伺います

説明：秋田市のまちづくりの方針

秋田市では、今後の人口減少・少子高齢化を見据え、将来とも市民が身近に様々なサービスを受けられるよう、市街地の拡大を抑制しながら、都心・中心市街地¹と6つの地域中心²に生活に必要なサービス機能（医療・福祉、商業、行政等）を集約した多核集約型の「コンパクトシティ」を目指しています。

都心・中心市街地¹

秋田駅周辺の中心市街地から市役所や国・県の官公庁施設が集中して立地する山王地区までの地域

6つの地域中心²

東部地域：秋田駅東地区 西部地域：新屋地区 南部地域：秋田新都市（御所野）地区
北部地域：土崎地区 河辺地域：和田地区 雄和地域：妙法地区

問15 前記の「秋田市のまちづくりの方針」を知っているかどうかお聞きします。

番号記入欄

- 1. 知っている
- 2. 言葉を聞いたことはあるが、その内容はわからなかった
- 3. 知らない
- 4. その他()

説明：都市計画での土地利用のルールに関する取組

秋田市では、都市計画の対象となる区域を決めて、市街化区域（都市的地域として生活や経済活動を行う場）と市街化調整区域（市街化を抑制して良好な営農や自然環境を保全する場）に区分し、市街化区域では、住居、商業、工業に大別して土地の使い方や建物の建て方のルールを定めています。

問16 前記の「土地利用のルールに関する取組」を知っているかどうかお聞きします。

番号記入欄

- 1. 知っている
- 2. 知っているが、内容はわからない
- 3. 知らない
- 4. その他()

自由意見 秋田市の「都市計画（まちづくり）の取組」について、ご意見やご提案がありましたら、下記に記入ください。

続いて次頁より「バリアフリー」に関することをお伺いします

2 バリアフリーについて

バリアフリーなどの言葉の意味についてお伺いします

問20 次の「言葉の意味」を知っているかどうかお聞きします。
あてはまるものを1つ選んで右の欄に番号を記入ください。

-1 バリアフリー

番号記入欄

- 1 . 知っており、大体説明できる
2 . 聞いたことはあるが、説明できない
3 . 知らない
4 . その他 ()

-2 ユニバーサルデザイン

番号記入欄

- 1 . 知っており、大体説明できる
2 . 聞いたことはあるが、説明できない
3 . 知らない
4 . その他 ()

-3 ノーマライゼーション

番号記入欄

- 1 . 知っており、大体説明できる
2 . 聞いたことはあるが、説明できない
3 . 知らない
4 . その他 ()

障がい者や高齢者が困っている場面での行動についてお伺いします

問21 あなたが「ここ1～2年の間に、外出先で、障がい者や高齢者が困っている場面を見かけたことがあるか」お聞きします。
あてはまるものを1つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

- 1 . ある 2 . ない

【資料3】

問22 前の 問21 で「1.ある」を選んだ方にお聞きします。（「2.ない」を選んだ方は下の 問25 へお進みください）
その時にあなたはどのようにしましたか。
あてはまるもの 1つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

- 1 . 手助けした（相手から求められて手助けした場合を含む）
2 . 何もしなかった
3 . その他（)

--

問23 前記の 問22 で「1.手助けした」を選んだ方にお聞きします。（「2.何もしなかった」を選んだ方は 下の 問24 へお進みください）
具体的にどのような手助けをしましたか。
あてはまるものをすべて選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

- 1 . 荷物を持った
2 . 横断歩道や通行の困難な道路で誘導したり手を引いた
3 . 階段の登り降りに手を貸した
4 . 電車やバスの乗り降りに手を貸した
5 . 車いすを押ししたり持ち上げたりするのを手伝った
6 . 乗り物で席を譲った
7 . 道や場所を教えた
8 . 扉を開けたり閉めたりした
9 . 落としたものを拾った
10 . その他（)

問24 前の 問22 で「3.何もしなかった」を選んだ方にお聞きします。
その理由は何ですか。
あてはまるものをすべて選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

- 1 . 急いでいた
2 . 自分自身も困っていて、手助けをできる状態ではなかった
3 . 自分でなくてもほかの人が手助けすると思った
4 . 恥ずかしい気持ちがあった
5 . 自分ひとりではできないと思った
6 . どのように手助けしたらいいか分からなかった
7 . 手助けしていいものなのか分からなかった
8 . 手助けしたくなかった
9 . その他（)

- 問25 「障がい者や高齢者が困っている場面などで、市民が手助けする行動を促進させていくためにはどのような取組が有効か」お聞きします。
特に有効だと思うものを2つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1. 児童生徒と高齢者や障がい者との交流
2. 学校教育での指導
3. 街頭キャンペーンやイベントの開催
4. ボランティアの育成
5. ホームページ等によるバリアフリー情報の提供
6. 広報やポスターなどによる啓発活動
7. セミナーやシンポジウムの開催
8. その他()

- 問26 商業施設や公共施設にある「車いすのマークのついた駐車スペース」の利用状況をどのように感じているかお聞きします。
あてはまるものを1つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1. 車いす使用者のみが利用している
2. 車いす使用者や高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人のみが利用している
3. 車いす使用者や高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人の利用の妨げにならないが、一般の車も利用している
4. 車いす使用者および高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人の利用の妨げになるほど、一般の車が利用している
5. わからない

--

- 問27 ここ最近、高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人の利用も可能な「多目的トイレ(みんなのトイレ)³」が増えましたが、その利用状況をどのように感じているかお聞きします。
あてはまるものを1つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1. 高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人の利用の妨げにはなっていない
2. 高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人の利用の妨げになっている
3. わからない

--

多目的トイレ(みんなのトイレ)³

車いす使用者対応設備やオストメイト(人工肛門や人工膀胱の排泄口を造設した人)対応設備のほか、子ども連れにはおむつ換えシートやベビーチェアなどが設置されたトイレ

自由意見 秋田市の「バリアフリーの取組」について、ご意見やご提案がありましたら、下記に記入ください。

アンケート調査にご協力いただきありがとうございました